

2018（平成 30 年）7 月

会員の皆様へ

日本タバコフリー学会 第 7 回学術大会 大会長
特定非営利活動法人日本タバコフリー学会 代表理事 菌 潤

第 7 回学術大会への演題提出及びご参加のお願い

日頃から NPO 法人日本タバコフリー学会の活動に、ご理解とご協力を賜り、まことに有難うございます。さて、**第 7 回学術大会**を 9 月 23 日（日）、兵庫医科大学 9 号館 5 階講義室（兵庫県西宮市武庫川町 1-1）にて開催します。テーマは「**加熱式タバコとハーム・リダクション理論の危険性**」です。タバコ産業が生き残りをかけて開発した加熱式タバコと、その基礎となるハーム・リダクション理論の危険性について、内外から気鋭の演者を招いて開催します。

また**シンポジウム**では 2020 年の東京五輪・パラリンピックを目前に、日本の受動喫煙対策が危惧される中、しっかりと「**FCTC 規準の完全禁煙実施、タバコフリーの社会を目指そう！**」という本会の理念を発信したいと思えます。

海外招請講演では、オーストラリアからメアリー・アスタ・コランダイ博士をお招きしました。同博士は、ASEAN 諸国で FCTC に則ったタバコ対策を推進している SEATCA（東南アジアタバコ規制連合）の上級政策顧問として活躍されています。世界最大のタバコ産業フィリップ・モリスが加熱式タバコの普及を目指して設立したスモーク・フリー財団の欺瞞性を厳しく指摘し、加熱式タバコとハーム・リダクション理論の危険性をご講演いただきます。

特別講演 Iでは、加熱式タバコの有害物質について、**樺田尚樹先生**（国立保健医療科学院）にお話しいただきます。**特別講演 II**では、**望月友美子先生**（日本対がん協会）に、加熱式タバコに対する規制について、国際的動向と日本への示唆についてご講演いただきます。**ランチョン・セミナー**は、**富岡洋海先生**（神戸市立医療センター西市民病院）が、加熱式タバコによる急性肺炎の世界初の報告を紹介されます。また、**教育講演**では、タバコと循環器疾患や JT の企業活動監視について、専門家をお招きしています。

今回の学術大会は、従来の 2 日間ではなく、1 日間のみで開催です。

一般演題は、午前中に発表していただく予定です。

学会の HP に、参加申込み（**事前登録がお得です**）や、演題募集のお知らせをアップしました。<http://tobaccofree-adv.main.jp/>

皆様の演題申込みとご参加を心からお待ちしています。

敬具